

旭川水害タイムライン検討会 想定シナリオ (百間川浸水想定区域図追加版)

想定シナリオ:

「**台風による記録的大雨により内水氾濫が発生し、その後旭川の水位が上昇し、堤防が決壊、氾濫した水が市街地に拡散。**」

①台風による大雨の条件:

- ・雨の規模は**1年に起こる確率が1/150の大雨(150年に1回以上起こる確率)**
- ・雨の降り方は**昭和54年10月の台風20号**

②内水氾濫の条件:

- ・台風接近に伴い、下流域において50mm/h以上の先行降雨によって内水はん濫が発生と仮定

③旭川の堤防決壊による氾濫の条件:

- ・平成22年3月時点の上流ダムの操作・能力及び堤防の整備状況
(現在の**浸水想定区域図(洪水ハザードマップ)**と同条件)
- ・**複数地点で計画高水位に達した時点で堤防が決壊し、氾濫発生**
※目安として、旭川の下牧水位観測所の水位をシナリオに示している。

想定される被災状況の例:

- ・逃げ遅れの住民あり
- ・地下街浸水の可能性あり
- ・通行不能道路あり
- ・停電、断水の可能性あり

※タイムラインは本来事前の防災行動計画ではあるが、例えば、市民救助といった氾濫発生後の災害対応項目について、被害軽減のために氾濫発生前に行動することがあれば行動項目として入れることとする。

旭川水害タイムライン 想定災害シナリオ(案)

レベル3以降の拡大図参照
10/18 23:10 10/19 4:00 8:00

タイムラインレベル	平常時業務体制	レベル1	レベル2	レベル3	レベル7
目標	—	内部調整	機関調整	地域調整	緊急対応

